

# ニーズの変化を常にキャッチ

TBCグループ株式会社 代表取締役

手塚圭子さん

Keiko Tezuka



静岡市出身で東京を拠点に内外で活躍している皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただけます。

## おしゃれ目的に

明るく、気取らず、何事にも前向きだ。そんな姿勢が若い社員たちの憧れの的となっている。東大医学部3年の時にミス日本グランプリに選ばれた。大学の前半、太ったものの、ごはんの量を半分にし減らし痩せた。「美しさを手に入れたことで、自分に自信が持てるようになり、何でもチャレンジしたい気持ちになりました」。

TBCグループは、全国にエステティックサロン2333店(女性151、男性44、脱毛38

の各専用店)を展開する業界最大手。創業(1976年)当時は毛深さに悩む女性が脱毛のために通ってきたが、肌の露出などファッションの変化に伴い、「今は悩みの解消だけでなく、男性も女性もおしゃれ目的になっていますね」と手塚さん。

ロンドン五輪で男子体操選手の「むだ毛」が話題になり、若い男性客の来店がぐんと増えた。「欧州では、男性のむだ毛処理はごく当たり前です。日本の男性もやっとそれに気づいてきました。メンズはまだまだ成長が期待できます」。



## 経歴

静岡市葵区生まれ。東京大学医学部卒、TBCビューティ&ライフ研究所室長、役員室部長などを経て、2010年、TBCグループ株式会社代表取締役に就任。

医学博士、保健学博士。日本エステティック業協会理事、日本抗加齢医学会、日本皮膚科学会などに所属。TV出演や講演、執筆など幅広く活躍。著書に「キレイのきほん」(大和出版)など。

<http://www.tbc.co.jp/>

手塚さんは極真空手の有段者。「空手では気持ち負けたら相手に勝てません。ビジネスも同じです。私は1%でも可能性があるならとことんやってみるたちで、それでいくつも成功してきました」と、気持ちの大切さを社員に伝えている。

最近ではTV通販にも力を入れており、完売商品が続く。「消費者のニーズはものすごいスピードで変わっていきます。時代の変化を常にキャッチしていくことが大切です」。競争の激しい中、業績を順調に伸ばしてきた自信がのぞく。

## 「体験型観光」の推進を

静岡市の魅力を尋ねると、「お茶をはじめ、文化のまちというイメージがある。そういうものをもっと発信していきたいかがでしよう」。観光についても「ただ観光資源を見せるだけのPRは時代遅れ。どこの店の料理が美味しいといったことなどは、ネットや口コミで広がっています。例えば、名物のおでんを食べたり、お茶をたてるなどの体験型の観光を、より積極的に進めたらどうでしょうかと提案する」。

「静岡の食文化をどんどん発信して、皆さんに静岡ならではの観光体験をしてもらいたいですね」。語り口にも、自然と熱がこもる。物事に全力で打ち込む姿勢とパッション。これも若さと美しさを保つ秘訣かもしれない。

(文)長田義明、写真提供 TBCグループ(株)